

2010年6月28日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

代表取締役社長 藤田正雄

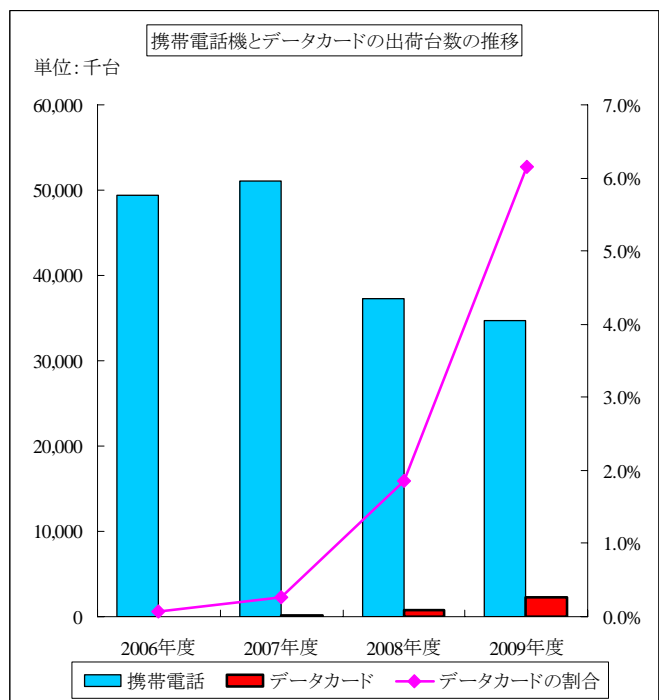
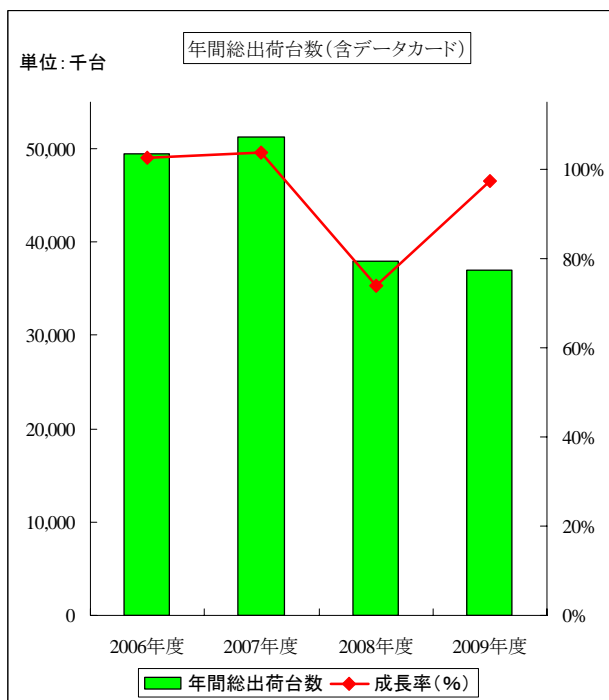
## TSR - Press Release

# 2009年度の国内携帯電話市場は前年度比97.5%で幕を閉じる

～ データ通信カード市場の成長が著しく年間出荷台数200万台を大きく上回った ～

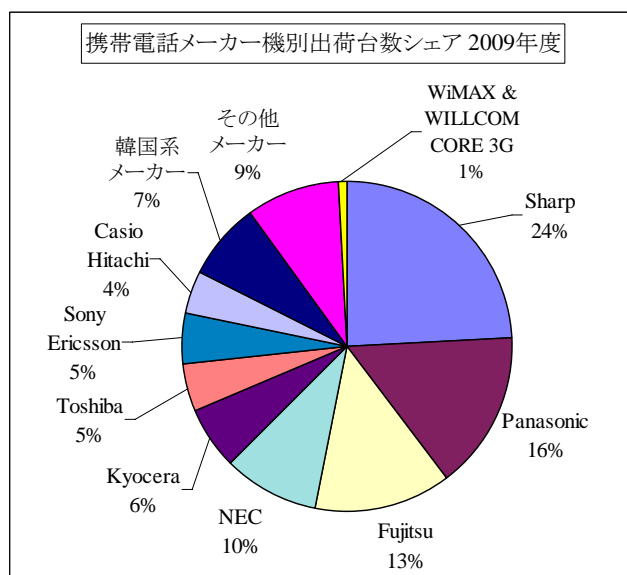
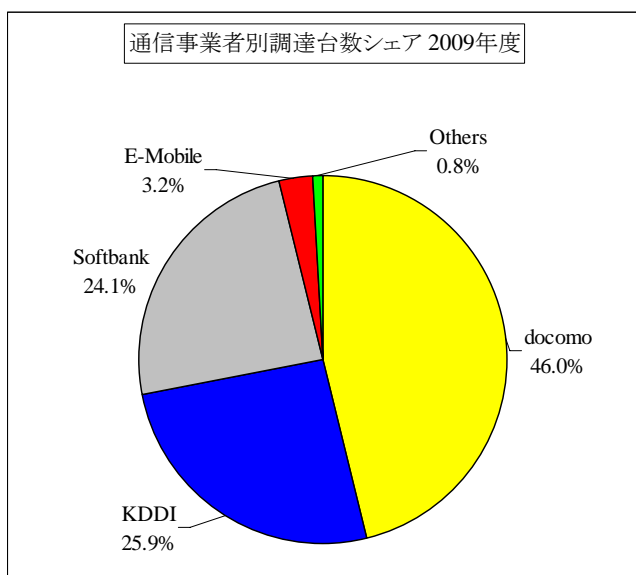
株式会社テクノ・システム・リサーチは国内市場向け携帯電話出荷台数の統計資料『月刊携帯電話機出荷統計情報』2009年4月号～2010年3月号のデータ集計を行ない、2009年度の国内携帯電話市場（データ通信カード含む）が3,695万5千台となったことを発表します。

市場規模は2008年度に引き続きマイナス成長となり、これにより2年連続でマイナス成長を記録した。しかしながら、マイナス幅は2008年度と比べると大幅に改善された。2008年度がマイナス26%成長であったのに対して、2009年度はマイナス2.5%であり、市場が徐々に回復傾向にあることを窺わせる。



2009年度は通信事業者各社がARPU（Average Revenue Per User：1契約当たりの月間平均収入）の向上が期待できるデータ通信サービスに大きく比重を置いた結果、データ通信カードの調達（出荷）台数が増加した。データ通信カード市場の成長はE-Mobileがサービスを開始した2007年度より徐々に成長し始め、2008年度はインターネットプロバイダを中心としたMVNO（Mobile Virtual Network Operator：仮想移動体通信事業者）によるデータ通信サービスが本格化したことで成長に拍車がかかった。さらに2009年度はWILLCOM CORE 3GサービスやWiMAXの商用サービスがスタートしたのに加えて、docomoが本格的に参入したことで市場が大きく成長した。2008年度の総出荷台数は100万台に達しなかったが、2009年度は200万台を大きく上回る市場に成長し、今後も順調に伸びていくことが見込まれる。

各通信事業者向けの出荷動向を見てみると、docomoとKDDIが2008年度に比べると出荷台数を減らしたのに対して（docomo：2008年度1,791万6千台／2009年度1,699万1千台、KDDI：2008年度1,093万4千台／2009年度958万8千台）、SoftbankとE-Mobileはプラス成長を遂げた（Softbank：2008年度809万6千台／2009年度891万1千台／E-Mobile：2008年度101万4千台／2009年度117万1千台）。また、2009年度より商用サービスが開始されたMobile WiMAXとWILLCOM CORE 3G向け出荷も市場全体の1割弱を占めた。



携帯電話機メーカー別の出荷状況を見てみると、市場シェアではSharpが前年に引き続きトップを確保し、2位には同じく前年と同様にPanasonicが入った。また、2008年度3位だったNECは4位に後退し、代わって昨年度4位だったFujitsuが3位に上がった。

日系メーカーで2008年度に比べて出荷台数が伸びたのはSharp、Fujitsu、Kyoceraの3社のみで、残りの5社（Sony Ericssonを含む）は軒並みマイナス成長を記録した。主にKDDI向けに出荷をしているメーカーはKDDIの在庫調整の影響を大きく受けたが、なかでもCasio Hitachiは冬春モデルでHitachiブランドの新製品が発売されなかったことも大きなマイナス要因となった。またプラス成長を遂げたKyoceraは、薄型モデル「K002」が大ヒットを遂げたことがプラス成長の主因となった。

日系メーカーが苦戦を強いられている一方で、海外メーカーの出荷台数が前年度比で大幅に成長を遂げた（2008年度468万3千台／2009年度612万8千台）。AppleのiPhoneシリーズの新製品が発売されたことなどが成長の要因の一つであるが、特にSamsung、LG、Pantechの韓国メーカーの成長が著しかった。2008年度の3社合計の出荷台数が136万4千台だったのに対して、2009年度は271万5千台と2倍近い成長を遂げた。また、データ通信カードも全体の9割以上を海外メーカーが出荷しているのが大きな成長要因であった。

2010年度も引き続き日系メーカーが苦戦する一方で、海外メーカーが順調に成長していくものと見られる。

#### 【資料紹介】

『月刊携帯電話機出荷統計情報』は各携帯電話機メーカーの通信事業者向け出荷台数を、毎月各モデル別に調査し統計を取って資料として纏めておりますので、メーカー別に加えてモデル別データを必要とする顧客にとって最適の資料となります。

#### 【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) 武花勇一(takehana@t-s-r.co.jp)

TEL:03-3866-4505